

日本生体医工学会 平成 30 年度第 4 回理事会議事録

日時 平成 31 年 1 月 18 日 (金) 14:00~17:30

会場 コンベンションホール AP 東京丸の内 3 階 A ルーム

<出席者>

理事長： 木村 裕一

副理事長： 杉町 勝, 大城 理 (兼関西支部長)

理事： 守本 祐司, 川田 徹, 黒田 知宏, 佐藤 嘉伸, 野村 泰伸, 平田 雅之,
松田 哲也, 生田 幸士 (第 58 回大会長), 井村 誠孝,
坂田 泰史, 中島 一樹, 成瀬 恵治 (第 59 回大会長),
松村 泰志, 横澤 宏一

監事： 吉田 正樹, 中沢 一雄

<オブザーバー・出席者>

幹事： 京相 雅樹, 原口 亮

事務局長： 磯山 隆

オブザーバー： 佐久間 一郎 (関東支部長), 長谷川 純一 (東海支部長),
伊良皆 啓治 (九州支部長), 椎名 毅 (第 60 回大会長)

<欠席者>

理事： 石原 謙 (兼中国四国支部長)

監事： 澤 芳樹

幹事： 永岡 隆

<配付資料>

- 30-4-00 平成 30 年度第 4 回議題案
- 30-4-02 平成 30 年度第 3 回理事会議事録案
- 30-4-03-1.1 入退会審査対象者
- 30-4-03-1.2 入会希望者リスト
- 30-4-03-1.3 退会希望者リスト
- 30-4-03-2 名誉会員推戴の件
- 30-4-04 平成 30 年度委員会・WG 構成
- 30-4-05.1 H31・32 代議員選挙の結果
- 30-4-05.2 H31・32 代議員候補者・次点候補者リスト
- 30-4-06.1 未承認医療機器使用の是非判断ガイドライン案
- 30-4-06.2 該当性判断ガイドライン案
- 30-4-07-2 印章管理規定変更案
- 30-4-07-3 「理事・監事候補推薦規程」改定について
- 30-4-08 「生体医工学シンポジウム 2019」について

30-4-10	第 57 回大会最終決算報告
30-4-10.1	第 58 回大会予算計画案
30-4-10.2	第 58 回大会会場運営費見積書
30-4-11	第 60 回日本生体医工学会大会準備状況
30-4-12.1	選奨報告書(中国四国支部)
30-4-12.2	選奨報告書(北海道支部)
30-4-12.3	選奨に関わる申請について(甲信越支部)
30-4-12.4	選奨報告書(甲信越支部)
30-4-14.1	臨床ME 専門認定士制度今後のフレームワーク合意書
30-4-14.2	臨床 ME 委員会会則
30-4-14-3	臨床 ME 認定基準
30-4-14.4	臨床 ME 専門認定し認定更新に必要な点数取得基準
30-4-15-1.1	日本生体医工学会維持会員入会希望団体
30-4-15-1.2	CDR ポスター
30-4-15-2.1	第 25 回第 1 種 ME 実力検定試験概要説明
30-4-15-2.2	新制第 1 種 ME 実力検定試験問題例
30-4-15-3	ME 塾に関して
30-4-16-1	大会およびシンポジウムのウェブサイトアーカイブ
30-4-16-2	G Suite の導入の検討
30-4-17-1	他団体との後援・協賛等の状況
30-4-17-2.1	「医療機器の安全性・有効性評価における非臨床試験の高度化に関する研究」協力依頼
30-4-17-2.2	「平成 31 年度 AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業」連携依頼
30-4-17-2.3	「平成 31 年度 AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業」公募要領
協賛 01	ロボティクス・メカトロニクス講演会 2019
協賛 02	有限要素法による骨のバイオメカニクス解析入門
協賛 03	COMPSAFE2020
協賛 04	QIRT-Asia2019
協賛 05	日本音響学会第 164 回技術講演会
協賛 06	平成 30 年度衝撃波シンポジウム(日本衝撃波研究会)
協賛 07,08	バイオメカニズムシンポジウム, バイオメカニズム学術講演会
協賛 09	第 17 回ナノテクノロジー総合シンポジウム
協賛 10	SSII2019
協賛 11	2019 電気学会大会
後援 01	第 29 回日本臨床工学会
後援 02	ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2019

1. 理事会成立の件 総務【議案 1】 大城副理事長

定款 34 条 2 項に則り、定足数 10 名を超える理事 17 名の出席、監事 2 名の出席を確認したことから、本理事会は成立した。

2. 平成 30 年度第 3 回議事録承認の件 総務【議案 2、審議事項】 木村理事長

資料 30-4-02 に基づき、平成 30 年度第 3 回議事録の確認が行われ、原案通り全会一致で承認された。

3. 代議員選挙の結果 選挙管理【議事 5、報告事項】 川田理事

資料 30-4-05 に基づき、代議員選挙の結果と、それに基づいた次期の代議員が決定されたことが報告された。選挙結果の詳細として、4 票の無効票があったことが報告された。今後代議員就任の意思の確認を新代議員に実施した後、新代議員を確定する旨報告があった。

また新代議員に対して、理事 9 名、監事 M1 名、M または E1 名の選挙を実施することが報告された。

4. 印章管理規程の改定 総務【議事 7-2、審議事項】 木村理事長

資料 30-4-07-2 に基づき、印章管理規程の改定について審議が行われた。公益法人においては印章を厳格に管理する必要がある。理事長印は規約に基づいて理事長が実体を管理している。一方で現在の規程では、銀行印は財務担当理事が持つことになっているが、学会経費の金融機関との入出金では、学会支援機構の金銭の取り扱い手順によって、銀行印を使用する必要があることから、業務効率が低下していた。そこで印章管理規程を改訂し、管理を移管できるようにする改訂案が提示され、以下を検討の上、発効することが全会一致で承認された。

原案では、全ての印鑑について移管できるような文章になっていたが、銀行印に限定するように修正することになった。

また、移管後の責任についての記述が無いことが指摘された。これについては担当司法書士に確認し、修正は理事長に一任された。

移管について、理事会の議を経るようすべきではないかとの意見があり、その検討は理事長に一任することになった。

5. 「理事・監事候補推薦規程」改定について 総務【議事 7-3、審議事項】 大城副理事長

資料 30-4-07-3 に基づき、理事の構成に支部間或いは大学、企業間での偏りが発生した際に、これの是正を目的とした規定の改定について説明があった。各方面の意見を学会の運営に反映することで、学会の活性化を図ることを意図している。

原案では、理事会が理事を追加指名する方式である。これに対して理事の定員に、予め

支部、企業の枠を設けてはどうかとの意見があったが、医療情報学会では、理事に対する理事会推薦枠があるという紹介があり、制度としての特段の問題が無いことから、原案が全会一致で承認された。但し、「バランスを取るために」という表現は、「バランスを考慮して」の方が良いのではないかという意見があったことから、表現の再考及び文面の確定は理事長に一任された。

上記に関する修正を行ったうえで、改定規程を発効することが全会一致で承認された。

6. 学会活性化のための事業のインセンティブ運用の新設及び旅費・謝金規程の見直し

総務【議事 7-1、審議事項】 木村理事長

前理事会以後の検討に基づいて、会員に対する会費からの旅費や謝金の支払いに対する、不公平感の発生に対する懸念が議論されたが、規約に基づいて支払が実施されることを前提とし、旅費や謝金の支払いを可とすることで、支部・研究会が企画する講演会等が魅力的なものとなり、学会の活性化が期待できることから、旅費・謝金の支出範囲を拡大することが全会一致で承認された。引き続きインセンティブ運用及び旅費謝金規程の改定を検討することとなった。

7. 入退会状況の件 会員【議事 3-1、審議事項】

資料 30-4-03-1.1、1.2、1.3 および回覧資料により入退会状況の確認が行われた。正会員 12 名、準会員 13 名の入会、正会員 16 名、準会員 3 名の退会対象者について全会一致で承認された。

8. 名誉会員推戴の件 会員【議事 3-2、審議事項】 大城副理事長

名誉会員推戴の件が資料 30-4-03-2 に基づいて審議され、湊小太郎先生の推戴が全会一致で承認された。ご意向を伺ったうえで、名誉会員記を贈呈し、生体医工学誌で告知する。

今後は、支部、研究会、事業での貢献を事由とする名誉会員の推薦を検討していただきたい旨、理事長より依頼があった。

9. 臨床ME専門認定士合同認定委員会の規約等 CE【議事 14、審議事項】 守本理事

日本医療機器学会との間で覚え書き等の再確認および変更が行われたとの報告があり、資料 30-4-14.1～30-4-14.4 に基づきその内容が紹介された。学会の公益法人化に伴い、臨床ME専門認定士の認定に係る事業を、学会主体の運用とするためである。医療機器学会より年額 20 万円が経費分担分として学会に支払われた上で、経費は学会が負担することになる。学会の負担は例年と変化しないことが確認され、原案通り全会一致で承認された。

10. 第一種 ME 技術検定試験改革に関して

ME 技術教育【議事 15-2、審議事項】 守本理事

資料 30-4-15-2.1, 30-15-2.2 に基づき、次の報告があった。検定試験の問題が、過度に専門化される傾向にあり、臨床現場で求められる知識からの乖離が見られることから、受験者の減少を引き起こしている。そこで、現場を想定した、問題解決型の記述式問題の新設が提案され、全会一致で承認された。

11. 今後の ME 塾に関して ME 技術教育【議事 15-3、報告事項】 守本理事

資料 30-4-15-3 に基づき、受講者が減少しており、資格取得者に対する生涯教育という目的が実現できないことから、一旦開催を中断し、改善策について検討するという提案があった。提案は全会一致で承認された。

12. ME 技術教育委員会会議室借用依頼の件

資料 30-4-15-1.1 に基づき、一般社団法人日本不整脈デバイス工業会から、学会が借用している会議室(株式会社 CE コーポレーション会議室・東京都文京区)の使用依頼があった。工業会が実施する講習会等で使用するためである。維持会員として学会に所属していただき、使用の都度学会に依頼を出して頂くことで、使用をその都度許可することとなった。

13. 委員会・WG 構成の件 各委員会・WG【議事 4、審議事項】

資料 30-4-04 に基づき、ME 研究推進委員会及び生体医工学科活性化委員会の 2 件について、委員および構成の確認が行われ、原案通り全会一致で承認された。

14. 「生体医工学シンポジウム 2019」について

シンポジウム WG【議事 8、審議事項】 大城副理事長

資料 30-4-08 に基づき開催概要について報告が行われ、2019 年 9 月 6 日(金)および 7 日(土)の開催が提案された。続いて予算案が示され、これに基づいて 60 万円の補助金が全会一致で承認された。最後に、ポスターアワードの実施が提案され、原案通り全会一致で承認された。

15. IFMBE APRNF 基金及びフェローの推薦について

国際【議事 9、報告・審議事項】 松田理事

IFMBE 企画の、アジア地域の若手交流事業の旅費に充てるための積立金について、2018 年 6 月の事業は IFMBE から旅費が支給されたため、現時点で 150 万円の残があることが報告された。

2021 年の IFMBE のシンガポール大会に合わせて開催される若手交流事業は、現状の額で実施可能であることから、年額 15 万円の積み立てを停止することが提案され、全会一致

で承認された。その後の対応については、2021年の後に再度検討することとなった。

また、フェローには、名誉会員の中から適切な方を選定することとなり、推薦期限が迫っていることから、理事長に一任された。

16. 臨床研究法に係るガイドラインの作成状況について

臨床研究法 WG 【議事 6、報告事項】 黒田理事

資料 30-4-6.1, 30-4-6.2 に基づき、臨床研究法の該当性、及び法で臨床研究とされた研究で使用される医療機器に対する品質の確保に係るガイドライン案について、作成の背景を含めた説明があった。また、本ガイドラインについて、厚生労働省との面談を予定していることが報告された。

該当性ガイドラインに対して、医工学領域の全体に関わることから、分かり易さを重視する必要がある。その結果、法文の解釈としての厳密性がある程度損なわれることの可否を議論した。ガイドラインの周知及び教育と、その際に出された疑問点を解決するための適時の改訂を実施することを条件に、本提案は全会一致で承認された。

品質確保のガイドラインに対しては、既出の厚労省通達は医薬品を想定しており、医療機器については、新たな Q and A などの通達の発出を厚労省へ働きかける必要があり、この方針が全会一致で承認された。

17. 2019年学会大会進捗報告

第 58 回大会実行委【議事 10、報告事項】 生田実行委員長

資料 30-4-10.1 および 30-4-10.2 に基づき、第 58 回大会の準備について報告があった。看護理工学会との共催で実施しているため、ポスターセッション等で実施するなど、工夫している旨報告があった。

次に、資料を基に、更新された予算の内容について説明があった。

また、看護理工学会とは学会参加費は異なっているが、看護理工学会側の参加者は、本学会が開催するセッション等に制限なく出席可とすることが全会一致で承認された。更に、大会のアブストラクト担当者と学会の編集部との打ち合わせが必要である点が確認された。

18. 2021年学会大会進捗報告

第 60 回大会実行委【議事 11、報告・審議事項】 椎名大会長

資料 30-4-11 に基づき、2021年に京都で開催する大会の準備の進捗について報告があった。その中で、日本生体磁気学会との合同開催の提案があり、全会一致で承認された。また、会場費の一部を大会の 2 年前に支払う必要があることから、大会の予算案の提出を前提に、学会からの補助金を、予め大会側に振替可能であることが確認された。

19. 各賞選奨報告書について (2018-003,005,甲信越支部選奨)

選奨【議事 12、報告事項・審議事項】 松村理事

資料 30-4-12.1～30-4-12.4 に基づき、既に実施が承認されている各支部からの選奨の状況について報告があった。

また、学会賞の中に、推薦件数が不十分な賞がある旨が報告された。これに関し、適正な推薦と選奨の方法について議論があった。

論文賞・阪本賞については、編集委員会への推薦依頼を行うことを定常的に実施し、今後は推薦のため学会誌編集段階で基礎的データを収集するよう、手順を変更することが全会一致で承認された。

20. 大会およびシンポジウムのウェブサイトアーカイブ

広報【議事 16-1、報告事項】 井村理事

資料 30-4-16-1 に基づき説明があった。札幌大会に対しては、大会ページのアーカイブの準備は順調に進んでいる。又、今後は、当該大会の大会長等に広報担当理事よりアーカイブに必要となる作業が依頼され、大会側はこれに対応することを確認した。

21. G Suite の導入の検討 広報【議事 16-2、報告事項】

資料 30-4-16-2 に基づき、Google が提供する G Suite の導入について確認された。学会固有のドメイン(jsmbe.com 等)の使用による学会の固有性の主張、現在学会支援機構に対して学会発のメールの送信を依頼した際に発生する費用(1 件あたり 6,000 円(税抜))の削減を目的として、G-Suits Nonprofits の利用が提案された。

公益法人に対しては無料で、登録するアドレスの数は無制限であり、更に、カレンダー、クラウドストレージ、ドキュメント管理の機能も備えていることから、その利用が全会一致で承認された。今後、利用開始に向けた手続きを進める。

22. 協賛等の状況 その他【議事 17-1、報告事項】

協賛・後援に関する資料が回覧された。

23. 「医療機器の安全性・有効性評価における非臨床試験の高度化に関する研究」

協力依頼 その他【議事 17-2、報告事項】 木村理事長

資料 30-4-17-2.1 から 30-4-17-2.3 に基づき、協力要請があったことが報告された。国立食品医薬品衛生研究所からの、AMED 主観の研究助成に対する学会の協力について報告された。研究助成には、学術団体の参画を求めるものがあるが、学会はこれに積極的に応える旨が報告された。

24. 関西支部評議会・講演会 報告 支部【議事13、報告事項】 大城副理事長
関西支部の評議会・講演会について報告があった。

25. 生体医工学テキスト作成の進捗状況

医学科ME教育 【その他、報告事項】 平田理事

生体医工学テキストについて、執筆方針、執筆者の依頼先、執筆要綱が定まった。今後WGで承認を得たのち、年度内に執筆依頼を行う予定である。